

第33回

in あいち

脊髄損傷理学療法研究会

— 脊髄損傷リハビリテーションの継承 —

2026年

11月7日(土)

11:00~17:00

中部ろうさい病院
リハビリ室・講堂



本研究会は、1993年の発足以来、
脊髄損傷者に対する理学療法の臨床・研究・教育の質的向上を目指し、
全国各地で研修会を開催してまいりました。

第33回を中部ろうさい病院にて開催する運びとなりました。

本研修会では、脊髄損傷理学療法に関する知見や技術の共有に加え、
参加者同士の活発な議論を通じて、さらなる発展を目指す機会としたいと考えています。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

 大会長挨拶	脊髄損傷リハビリテーションにおける継承を考える	本村 聖也 中部ろうさい病院
 基調講演	脊髄損傷者の痙縮に対する当院の取り組み	講師：渡邊 友恵 先生 中部ろうさい病院 リハビリテーション科医師
 ランチョン型セッション	その研究、どう臨床に活かしている？その臨床、どう研究にしている？ — 脊髄損傷領域におけるPTの研究実践 —	講師：師岡 祐輔 先生 埼玉医科大学 理学療法士
 特別セッション ※リハビリテーション室 での実技セッション	技術の継承 ～臨床でしか伝えられないリアルな動作の診方～ 運動完全麻痺者における基本動作を熟練者が紐解く	講師：藤縄 光留 先生 神奈川リハビリテーション病院 理学療法士 江口 謙之 先生 中部ろうさい病院 理学療法士
 総合討論	熟練者に問う ～臨床のリアル～	登壇者：特別セッション講師陣およびファシリテーター

参加費
¥ 5,000円

定員
80名

大会長
本村 聖也
中部ろうさい病院

参加申し込み

申し込み方法は
Peatix から

Peatix QRコード



SNS発信情報

X (旧Twitter) で情報発信しています！
大会情報や最新情報を随時お届けします。
@script1993

